

石川県原子力環境安全管理協議会議事録

1. 日 時：平成16年6月28日(金)午後1時30分から2時35分

2. 場 所：石川県庁 11階「1109会議室」

3. 出席者：19名(名称略)、事務局、説明者他

4. 議事概要

(1)志賀原子力発電所1号機の運転状況、復水器内の導電率上昇、1号機AM整備後の確率論的安全評価報告書、2号機新燃料輸送計画、2号機プラント元請メーカーに関する指導事項及び連絡基準に基づく連絡事象について、北陸電力㈱から説明があった。

(委員)：アクシデントマネジメントを説明される際、国際原子力機関が使用している確率で比較するより、より厳しい日本で使用している確率を用い説明すべき。

ベントを説明される際、閉じこめる機能も併せて説明すべき。

(電力)：説明の際には十分留意したい。

放射性物質を閉じこめる機能については、サブレーションプールの効果についても併せて説明したい。

(2)志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(平成15年度第4報)(案)について、石川県から説明があり、了承された。

(3)志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(平成15年度第3報)(案)について、石川県から説明があり、了承された。

(4)(財)発電設備技術検査協会が行った溶接検査に関する報告徴収結果について、原子力安全・保安院から説明があった。

(委員)：液体浸透探傷試験が行われないで製品が出荷されることが何故起こったのか。

(保安院)：協会におけるチェックは3段階あったのだが、体制が不十分であったため、チェック洩れが生じた。志賀2号機については、今回

の箇所以外で検査の抜けがないことを確認している。

(5)平成15年度第4回保安検査結果について、原子力安全・保安院志賀原子力保安検査官事務所から説明があった。

(6)前回の議事録(案)については、意見等があれば7月5日までに事務局へ連絡していただくこととなった。

以 上